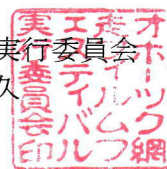


平成29年11月24日

各位

オホーツク網走フィルムフェスティバル実行委員会
代表(実行委員長) 平野 雅 久



「第10回(2017)オホーツク網走フィルムフェスティバル(網走映画祭)」開催にかかる
プログラム広告協賛のお礼

拝啓 初冬の候、貴職益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

12月1日(金)～3日(日)まで3日間、エコーセンター2000における「第10回(2017)オホーツク網走フィルムフェスティバル(略称:網走映画祭)」の開催実現にあたり、公式プログラムの広告掲載にご協賛いただき、心より感謝申し上げます。

第10回目を数える今年、“網走番外地シリーズ”の石井輝男監督の十三回忌を偲び、“映画”の力を伝えるため、「愛吹きわたる、そして未来へ」をテーマに、心ゆさぶる“映画”を厳選しました。

石井輝男監督の代表作『網走番外地 吹雪の斗争』(1967年)と『ねじ式』(1998年)、『猛獣VS一寸法師』(2001年)のほか、北海道ロケの『心に吹く風』(2017年)、オホーツクロケの『風の色』(2018年1月26日公開予定)、網走ロケの『トリノコシティ』(本年12月23日公開予定)、話題作の『キセキの葉書』(2017年)、『東京ノアール』(2018年公開予定)、『今夜新宿で、彼女は、』(2017年)、網走映画祭の過去上映作品からのリクエスト第一位『冬が燃えたら』(2016年)、『雨の日は会えない、晴れた日は君を想う Demolition』(2017年)、被災地で制作された秀作アニメの『ちえりとチェリー』(2016)と『チェブラーシカ 動物園へ行く』(2016年)の全13作品を一挙上映します。

会場内には、『石井輝男監督十三回忌追悼展』、高倉健さんを偲ぶ『網走健さん忌』を設置するほか、上映作品の俳優・監督たちが“石井輝男監督”“地域愛”などを語る『映画対談(ぶっちゃけトーク)』、映画づくりが体験できる『映画教室』と“短編映画”の公募、最新映画などを伝える『映画プロモーション』、地元グルメを楽しむ『シネマ屋台』、映画ファンと監督・俳優たちとの『パーティー(交流会)』も予定しています。

また、オープニングは東京農業大学全学応援団、エンディングでは制作された短編映画の上映・表彰、抽選会、ゲスト挨拶、YOSAKOIソーラン同好会「農天揆」が演舞を披露する予定です。

ぜひとも、会場に足を運び、“映画の世界”の素晴らしさを体感していただければ幸いです。

この映画祭の開催により、“映画を創る街・オホーツク”ブランドの確立、地域の芸術・文化・観光の振興に寄与したいと精進しますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

名 称	第10回(2017)オホーツク網走フィルムフェスティバル ※略称:網走映画祭
日 時	平成29年12月1日(金)～12月3日(日) 午前9時～午後10時
開催場所	エコーセンター2000(網走市北2条西3丁目)
鑑賞券	1,000円(当日1,500円) ※全13作品3日間共通券 ※未就学児は無料
特別協賛	(株)石井輝男プロダクション
協 賛	プログラム掲載の企業・団体ほか
来場予定	約2,500名
プログラム	別冊のとおり ※発行部数1,200部(A4サイズ・32ページ) ※映画祭当日、来場者へ無料配布します
主 催 者	オホーツク網走フィルムフェスティバル実行委員会 〒093-0033 網走市駒場北3丁目4番17号 電話/FAX 0152-44-1363 Email mghmg346@yahoo.co.jp http://abashiri-filmfes.com/